

# 第19回 鴨叡会・生命分子化学科セミナー報告書

微生物機能化学研究室 渡部邦彦

開催日時：2014年 1月 31日 午後3時（1時間程度）

開催場所：京都府立大学 図書館 視聴覚教室（3階）

講演者：氏名 Prof. Alexander Steinbüchel

Institute für Molekulare Mikrobiologie und Biotechnologie,  
Westfälische Wilhelms-Universität Münster,  
Germany

講演タイトル：“Utilization of the low specificity of polymer synthases for synthesis of novel and/or unusual polyesters and polyamides”

（微生物由来ポリマー合成酵素の広い基質特異性を利用した新規かつ異常なポリエステルとポリアミドの合成）

参加者：学部学生、大学院学生、教員、学外者（会社、京都工繊大関係者）

参加者総数：40名

講演内容：

Steinbüchel 先生（ドイツ・ミュンスター大学）は、細菌を用いた生分解性ポリマー合成の世界的権威で、今回は、ポリマー合成酵素が示す多様な基質特異性を用いて、様々なポリマーを合成する研究を紹介して頂いた。特にポリヒドロキシアルカンの生産については、商品化されている実用化例を示しながら、微生物の生産経路を示して代謝遺伝子改変、メタボローム解析、タンパク質工学など、微生物機能を解析するカレントな技術・手法を用いた研究を紹介された。常にこの研究領域で世界を牽引しておられ、微生物の持つ力を存分に引き出す研究内容の講演をして頂いた。

講演は英語で行い、講演終了後、教員を中心に活発な質疑・応答が行われ、演者から丁寧に説明が加えられ、理解を深めることが出来た。

